平成二十五年度　学習指導改善調査　第五学年国語【問題】

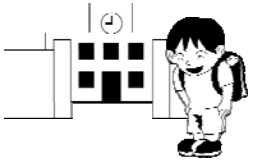
組　　番　氏名

青空小学校には、あいさつについて、次の二つのめあてがあります。

① 自分から すすんで あいさつをする。
② はっきりした声で あいさつをする。

そこで、生活委員会では四月から当番を決めて、校門前で朝のあいさつ運動に取り組んできました。

二か月がすぎたところで、めあてが達成できているか、全校児童からアンケートに答えてもらいました。そのアンケート結果や委員会での話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えましょう。



資料１　あいさつ運動アンケートの結果

アンケートの項目（こうもく）／学年（人数）	自分から すすんで あいさつが できた人数	はっきり した声で あいさつが できた人数
1年生（８３人）	８１人	８２人
2年生（８２人）	７５人	７８人
3年生（８３人）	７９人	８０人
4年生（８１人）	７５人	７７人
5年生（８６人）	７２人	５０人
6年生（８５人）	７３人	４８人
合 計（５００人）	４５５人	４１５人

資料２　あいさつ運動のおもな感想

○ 毎朝、元気よくあいさつができて、気持ちがよかった。
○ 生活委員のみなさんが、笑顔であいさつをしてくれて、うれしかった。
○ 「あいさつが上手だね」とほめられてうれしかった。
○ あいさつの大切さが分かった。これからもすすんであいさつをしたい。

● 生活委員にはあいさつをしたけれど、他の人にはあまりしなかった。
● 友達と話していて、あいさつをしないことが多かった。
● はずかしくて小さい声であいさつをすることが多かった。
● 自分はあいさつをしていたけれど、していない人も多くいた。
● あいさつ当番の人数が少ないと思った。

資料３　あいさつ運動への意見

○ あいさつを呼びかけるポスターをはるとよいと思う。
○ 校門前だけでなく、げんかん前にも当番がいるとよいと思う。
○ あいさつがよかった人に賞じょうをあげるとよいと思う。
○ あいさつキャラクターを決めて、当番といっしょに立つと、みんな喜ぶと思う。

【話し合いの様子 ①】

司会者　みなさん、青空小学校のあいさつのめあては、達成できたと言えるでしょうか。

小林さん　わたしは、めあてを達成できたと思います。「自分からすすんであいさつができた」は、全校で四五五人、「はっきりした声であいさつできた」は四一五人と、両方ともできている人数が多いからです。

鈴木さん　小林さんの意見に［　ア　］です。あいさつ運動の感想を読むと、「気持ちがよかった」「うれしかった」などの言葉が見られます。あいさつのよさを感じている人が多いからだと思います。実際、ぼくもあいさつ運動のときに、よいあいさつをする人が多いなと感じました。

田中さん　わたしは二人の意見に反対です。たしかに、「自分からすすんであいさつをする」は、どの学年もよくできたと思いますが、「はっきりした声であいさつをする」は、まだできていないと思うからです。アンケート結果を見ると、［　イ　］ことがわかります。五・六年生でも他の学年と同じように、めあてを達成できた人をもっと増やさないといけないと思います。

（話し合いは続く・・・）

話し合いの後、生活委員では、「はっきりした声であいさつをする」人をもっと多くするための取り組みとして、次の二つの案についてどちらがよいか、話し合いました。

Ａ案　よいあいさつができた人に「あいさつ名人カード」を渡す。
Ｂ案　生活委員だけでなく、全校児童もあいさつ当番をする。

【話し合いの様子 ②】

司会者　みなさん、これからの取り組みとして、Ａ案とＢ案、どちらがよいでしょうか。

田中さん　わたしは、Ａ案に賛成です。あいさつ運動への意見に、「あいさつが上手な人に賞状をあげるとよい」という意見があるからです。わたしも以前、ハンカチ・ティッシュ調べで、賞状をもらったことがあります。うれしかったので、カードをあげることはよいことだと思います。

小林さん　わたしは、Ａ案に反対です。同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配があるからです。そうすると、あいさつをする気もなくなるのではないでしょうか。

田中さん　たしかに、同じ人がもらうこともあると思います。でも、名人カードをもらうことでやる気を出す人もたくさんいると思います。ただ、生活委員もカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまいます。そこは気を付けなければいけません。

鈴木さん　ぼくは、Ａ案に賛成です。「小さい声であいさつをすることが多かった」という感想があります。名人カードをもらうためには、よく聞こえる声であいさつをしなければなりません。Ａ案にすれば、「はっきりした声であいさつをする」というめあてを達成できる人がもっと増えると思います。

司会者　Ａ案については、いろいろな意見が出ました。Ｂ案についての意見はありませんか。

高橋さん　ぼくは、Ｂ案に賛成です。「あいさつ当番の人数が少ないと思った」という感想があります。全校のみなさんから協力してもらえば、他の場所にも立つことができます。いろいろな場所からあいさつの声が聞こえれば、みんなももっとよい声であいさつをするようになると思うからです。

小林さん　わたしもＢ案に賛成です。あいさつ当番になれば、これまであまりあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになると思うからです。

田中さん　わたしは、Ｂ案に反対です。「はずかしくて小さな声であいさつをした」という感想があります。はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなると思います。

渡辺さん　ぼくも、Ｂ案には反対です。当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなると思います。それではあいさつをするどころではありません。

高橋さん　渡辺さんの意見について、よい考えがあります。当番の決め方を工夫すれば、大丈夫です。

渡辺さん　当番の決め方を工夫すると言っても、それではよく分かりません。どのように工夫するのかよい方法はありますか。

司会者　どちらの案にも問題点があるようです。解決方法をもう少し考えてみましょう。

（話し合いは続く・・・）

問い一　「話し合いの様子 ①」の［　ア　］に入る言葉を書きましょう。

［　　］

問い二　田中さんは、まだめあてが達成できていないと考えています。「話し合いの様子 ①」の［　イ　］には、どのような文が入るでしょうか。アンケートの結果を見て、その人数を入れて書きましょう。

アンケートの結果を見ると、

［　　］ことがわかります。

問い三　「話し合いの様子 ②」では、A案とB案の問題点が述べられています。文中から探して、それぞれ一つずつ書きましょう。

A案の問題点

［　　］

B案の問題点

［　　］

問い四　あなたが生活委員の一員だったら、A案とB案、どちらの案に賛成しますか。次に示す条件を満たして、原稿用紙に書きましょう。

条件1　三三九字をこえるまで書くこと。
ただし、四〇〇字以内で書くこと。
※ 題名や氏名は書かずに一行目から書き始める。

条件2　「始め・中・終わり」のまとまりを作り、**五だん落で書く**こと。

条件3　「始め」には、**あなたが賛成する案を書く**こと。

条件4　「中」には、次のことを必ず書くこと。
① **あなたが賛成する理由を二つ書く**こと。
② 理由の一つには、**あなた自身の体験や予想などを加えて、くわしく説明する**こと。
※ アンケート結果やあいさつ運動の感想・意見を使ったり、話し合いの様子②での意見の述べ方を参考にしたりして書いてもよい。
③ **あなたが賛成する案の問題点と、それについてあなたの考えを書く**こと。
※ 次の文の書き方を参考にしてもよい。
「たしかに、A案（またはB案）には、～という問題点があります。しかし、～だと思います。」（または、「～するとよいと思います。」）

〈書き方の例〉

始め（1だん落）	中（3だん落）	終わり（1だん落）
わたしは、A案（またはB案）に賛成です。理由は二つあります。	一つ目の理由は、～だからです。 ※ あなたの体験や予想などを入れる。 二つ目の理由は、～だからです。 たしかに、A案（またはB案）には～という問題点があります。しかし～ （体験や予想、案の問題点とそれについての考えなどは、一つの理由のあとに続けて書いても、二つの理由のあとに分けて書いてもどちらでもよい。）	このような理由から、「はっきりした声であいさつをする」人を増やすためには、A案（またはB案）がよいと思います。

（三三九字）をこえるまで書きましょう。

組　番　氏名

339

400

← ここは、先生用ですので、記入しないでください。

	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9